



にぎわい東北

— つなげよう、ふるさとのチカラ

AEON

2019年3月5日  
イオン琉球株式会社

お買物を通じて、岩手・宮城・福島県の子どもたちを支援します  
**3/9(土)~11(月)、東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」実施**

2011年3月に発生した東日本大震災からまもなく8年をむかえます。イオンは本年も3月9日(土)~11日(月)、イオン琉球各店舗含む全国のグループ各社約2,100店舗において、東北支援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施します。

イオンは2001年より、毎月11日の「イオン・デー」に、「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施しています。お客さまに、応援したいと思うボランティア団体のボックスにレシートを投函していただき、そのレシート合計金額の1%相当の品物をイオンからボランティア団体に寄付するものです。

2012年度からは、東北復興支援活動の一環として3月のキャンペーン期間を3日間に拡大し、岩手県・宮城県・福島県の子どもたちを応援する活動に寄付しています。期間中、お客さまから専用ボックスに投函いただいたレシート合計金額の1%を、被災した子どもたちの「暮らし」と「学び」を応援する3県の育英基金にイオンが寄付しています。2018年度までに同キャンペーンを通じて被災地に贈られた累計寄付金額は、約9億2,518万円にのぼります。



イオンは全国の皆さまと手をたずさえ、暮らしに身近な小売業ならではの取り組みを通じて、東北の創生に向けてともに歩んでまいります。

■東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

期 間：2019年3月9日(土)~11日(月)

実施店舗：イオン琉球 44店舗

(イオン6店舗、マックスバリュ30店舗、ザ・ビッグ8店舗)

上記含む全国のイオン、マックスバリュほかグループ約2,100店舗

寄付先：岩手県「いわての学び希望基金」

宮城県「東日本大震災みやぎこども育英募金」

福島県「東日本大震災ふくしまこども寄附金」

備 考：3月は東北支援のボックスのみの設置となります。そのため、地域のボランティア活動を支援する「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、次回4月10日(水)、11日(木)の2日間実施します。



※2001年から実施している「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」では、2017年度までに、のべ約29万3,700団体へ、総額約34億2,935万円相当の品物をお贈りしています。

## ご参考

### イオン琉球㈱の被災地支援活動について

#### ■ 「イオン 心をつなぐプロジェクト」ボランティア活動

イオングループでは2020年までにグループ約30万人の従業員が「イオン 心をつなぐプロジェクト」ボランティア活動に参加することを目標に、グループ各社で東北の復興支援ボランティア活動に取り組んでおります。

イオン琉球では、2011年から毎年継続してこのボランティア活動に参加しております。

〈一例〉

#### □ 行って応援！東北復興支援ボランティア活動に参加

毎年数名の従業員がボランティアとしてさまざまな復興支援活動に参加しています。

2018年度は、被災地域のニーズに合わせた中長期的な活動として、被害に遭った福島県岩瀬郡鏡石町の農作物、ふじりんごやきゅうりの摘果作業を行いました。

また、福島県双葉郡広野町の津波で被災した鹿島神社周辺の除草とサツキやホンサカキなど約600本の植樹活動、2016年に植樹した海岸防災林の除草作業等を行うなど、今後も引き続き、復興支援が必要な場所へ出向き支援活動を行っていきます。



ふじりんご摘果作業の様子



被災した鹿島神社周辺の植樹作業



鹿島神社にて広野町長らとともに

#### □ 買って支援！宮城県丸森町耕野地区の特産物”あんぽ柿”

2017年、ボランティア活動に加え持続可能なコミュニティ再生を目指した地域交流型の支援活動「イオン未来共創プログラム」の一環として、丸森町の地域の方々との交流や地域の特産物である柿の収穫を手伝い、その干し柿である”あんぽ柿”をはじめ、丸森町の特産物を計324個従業員で購入し復興支援に役立てていただく活動を行いました。



丸森町の特産”あんぽ柿”



あんぽ柿を購入したイオン琉球従業員